

施策分析シート（平成30年度）

No1

施策名	親子の健康推進			施策No	03-05	部課名	健康部健康推進課		
						課長名	尾本	内線	429
関連部課名	子育て支援部子育て支援課								
行政評価 事業体系	分野	Ⅱ	子育て教育都市						
	政策	03	子育てしやすいまちの形成						

目的 誰もが健やかに妊娠・出産ができるよう、妊婦と家族に寄り添った産前産後の支援を行う。また、乳幼児が健やかに発育・発達し、生涯を通じたところと身体健康づくり環境を整備する。

指

幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文	
		27年度	28年度	29年度		
①	子育て・教育環境の満足度	3.46	3.43	3.46	お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設など（提供しているのが、民間か行政かを問わず）が充実していると思いますか？	
②						
③						
④						

標

施策の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み	目標値(38年度)	
①	区の合計特殊出生率	1.33	1.33	1.21(推計)	1.21	1.43	27、28年度は人口動態統計年報（東京都）による
②	育児不安を持つ親の割合	24.3	26.2	26.4	23.0	20.0	乳幼児健診アンケートによる
③	乳幼児健診受診者数（人）	8,638	8,801	8,613	8,804	10,000	4か月、1歳6か月、3歳、6か月、9か月児健診受診者数
④	講座を通じて友人ができた人の割合	81.1	-	81.1	82.0	-	母親学級のアンケートによる
⑤	講座を通じて不安軽減した割合	-	96.0	98.1	98.0	98.0	母親学級のアンケートによる

（単位：千円）

	勘定科目	28年度	29年度	差額		勘定科目	28年度	29年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	145,312	145,383	71	行政収入	地方税	0	0	0
	物件費	187,747	188,391	644		国庫支出金	2,989	5,259	2,270
	維持補修費	0	0	0		都支出金	3,818	4,030	212
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	132	132
	補助費等	20,035	19,573	▲ 462		使用料及び手数料	821	777	▲ 44
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	7,628	10,198	2,570
	賞与・退職給与引当金繰入額	7,566	19,319	11,753		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 353,032	▲ 362,468	▲ 9,436
	その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	360,660	372,666	12,006		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 353,032	▲ 362,468	▲ 9,436
	特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 353,032	▲ 362,468	▲ 9,436
貸借対照表	勘定科目	28年度	29年度	差額		勘定科目	28年度	29年度	差額
	流動資産					流動負債			
	収入未済	0	0	0		還付未済金	6,553	4,483	▲ 2,070
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0		賞与引当金	6,553	4,483	▲ 2,070
	有形固定資産	0	0	0		その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0		固定負債			
	建物	0	0	0		特別区債	37,083	50,594	13,511
	建物減価償却累計額	0	0	0		退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	0	0	0		その他の固定負債	37,083	50,594	13,511
	工作物等減価償却累計額	0	0	0		負債の部合計	43,636	55,077	11,441
	無形固定資産	0	0	0		正味財産	▲ 43,636	▲ 55,077	▲ 11,441
	建設仮勘定	0	0	0		正味財産の部合計	▲ 43,636	▲ 55,077	▲ 11,441
	その他の固定資産	0	0	0		負債及び正味財産の部合計	0	0	0
	資産の部合計	0	0	0					

財務諸表に関する特徴的事項等

- 行政費用は、物件費が50.6%を占め、次いで健診等に従事する職員の給与関係費が39.0%、補助費等5.3%、賞与・退職給与引当金繰入額5.2%となっている。
- 行政収入は、国庫支出金51.6%、都支出金39.5%、使用料及び手数料7.6%、分担金及び負担金1.3%となっている。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○母親学級や両親学級など、これから出産を迎える親を対象とした各種講座の参加者は増加傾向となっている。 ○4か月健診、1歳6か月健診、3歳児健診などの乳幼児健診は、高い受診率となっている。また、こうした健診時にアンケートを実施し、育児不安の早期発見に努めている。
課題	○少子化、核家族化の進展に伴い、子どもと接した経験が少ない親が増えており、個別支援の強化が必要である。 ○乳幼児健診未受診者、就学時健診未受診者は少ないが、未受診者は何らかの問題を抱えている場合も考えられることから、適切なフォローアップが必要である。 ○育児不安を感じる人の割合は、出産後間もない時期（4か月健診時）が最も高くなっており、母子と家族のメンタルヘルスと養育環境の改善のため、妊娠期からの予防的な介入、支援が必要である。
今後の方向性	○妊娠中及び産後の適切な健康管理とメンタルヘルスのため、妊婦に寄り添った適切な相談支援体制を充実させる。 ○また、出産後も、子育ての孤立化の防止に努める。 ○乳幼児の健やかな成長を支えるため、引き続き多くの方が乳幼児健診を受診できる取組を進める。未受診者については電話等のフォローを行うとともに、居所不明児童とならないよう関係機関と情報共有を図り、全対象者の状況把握に努める。 ○母親学級やママメンタル事業、特別育児相談等の様々な機会を捉え、親の心の問題や精神疾患等の親側の不安の要因に寄り添う支援を行うとともに、経済的支援、ヘルパー等の社会資源、就労やDVなど、子育て世帯が直面する様々な課題に関係機関と連携して取り組む。

施策の分類		分類についての説明・意見等
30年度	31年度	
重点的に推進	重点的に推進	妊娠期から支援することにより、胎児期からの健康が保障され、家族全体の健康増進も図られることから優先度は極めて高い。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		28年度	29年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
母親学級・両親学級	09-02-13	11,877	13,217	1,237	1,137	重点的に推進	重点的に推進	地域で孤立せず、妊娠・出産・育児期のトラブルを未然に防止するため欠かせない事業であり、優先度は非常に高い。
妊産婦健康診査	09-02-14	149,469	149,049	146,394	146,431	重点的に推進	重点的に推進	流・早産、妊娠高血圧症候群等を予防し、健やかに妊娠、出産を迎えるため欠かせない事業であるとともに、メンタル支援の観点からも優先度は非常に高い。
乳幼児健診（４か月児）	09-02-15	22,478	22,927	6,077	6,091	重点的に推進	重点的に推進	子育て期の総合的な切れ目のない支援の一環であり、生涯の健康づくりの起点として、優先度が非常に高い事業である。
乳幼児健診（１歳６か月児）	09-02-16	25,183	24,902	6,951	6,947	推進	重点的に推進	子育て期の総合的な切れ目のない支援の一環であり、生涯の健康づくりの起点として、優先度が非常に高い事業である。
乳幼児健診（３歳児）	09-02-17	27,006	27,408	8,691	8,625	推進	重点的に推進	子育て期の総合的な切れ目のない支援の一環であり、生涯の健康づくりの起点として、優先度が非常に高い事業である。
乳幼児健診（６・９か月児）	09-02-18	25,085	24,155	23,093	22,827	推進	重点的に推進	子育て期の総合的な切れ目のない支援の一環であり、生涯の健康づくりの起点として、優先度が非常に高い事業である。
経過観察健診	09-02-19	10,057	10,179	1,665	1,630	継続	継続	母子保健の切れ目ない支援の一環であり、生涯の健康づくりの起点として優先度が高い事業である。
乳幼児（精密）健診	09-02-20	1,421	1,529	176	201	継続	継続	母子保健の切れ目ない支援の一環であり、生涯の健康づくりの起点として優先度が高い事業である。また、健診の結果、疾病や異常が疑われる乳幼児の診断確定、早期医療・療育のために必要な事業である。
妊産婦・新生児訪問	09-02-21	42,867	45,039	9,643	8,588	重点的に推進	重点的に推進	母子保健の切れ目ない支援の一環であり、生涯の健康づくりの起点として優先度が非常に高い事業である。
子育てファミリー事業	09-02-22	13,974	13,573	1,524	1,485	重点的に推進	重点的に推進	母子保健の切れ目ない支援の一環であり生涯の健康づくりの起点として優先度が高い事業である。また、離乳食等に関する講義等により乳幼児の健全な発育を支援するための事業であり優先度は非常に高い。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		28年度	29年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
すくすくサポート事業	09-02-23	22,071	24,725	2,899	2,885	重点的 に推進	重点的 に推進	母子保健からの切れ目ない支援の一環として、生涯の健康づくりの起点となる事業であり、妊産婦の心に焦点を当てた支援を行う事業の重要性は非常に高い。
母子健康手帳交付費	09-02-26	6,767	7,386	1,319	1,244	継続	重点的 に推進	全ての妊婦と初めて接する機会を捉え、妊娠期から子育て期にわたる総合的な切れ目ない支援の起点として、優先度が非常に高い事業である。
歯科衛生相談室	09-02-30	2,406	2,489	1,161	1,161	継続	継続	乳幼児および保護者の口腔保健向上のため重要な事業である。
母子保健システム運用管理費	09-02-34	—	1,328	—	—	重点的 に推進	重点的 に推進	母子保健事業全体を統括するシステムを導入するものであり、切れ目ない支援を行い、児童相談所システムと連携をしていくためにも、事業の優先度は非常に高い。
産後ケア事業	10-01-09	—	4,760	—	1,791	重点的 に推進	重点的 に推進	家庭内で孤立しがちな産後間もない母子の支援策として、必要な事業である。
合 計		360,661	372,666	210,830	211,043			